

豊橋の前芝小・中学校生徒ら

健全な生活へ意見交換

SNSの使用法など議論

豊橋市前芝中学校は7日、隣接する前芝小学校の児童と携帯電話やゲームなどメディアの使い方について話し合う小合同学校保健委員会を開いた。両校の児童・生徒計30人が参加し、健全な生活を送るための意見を交わした。

子どもたちは4グループに分かれてメディアの使用法などを話し合い、意見を発表。「情報を早く得ることができ」などのメリットと「生活リズムが崩れる」などのデメリットを上げ、有効利用するため「使用時間を決める」などと提言し

た。隣接する両校は、約10年前から合同保健委員会を開いている。今年も携帯電話やSNS（ソーシャル・ネットワーク）の使用方法について話し合った。両校は、委員会の内容を朝会などで発表し、全校児童・生

徒に周知していく。この日は、学年によってメディアの使用状況が異なるアンケート結果を示して問題点を提示。便利なツールとしての活用法と、体に及ぼす悪影響など、多面から意見を述べ合い健康生活への関わりを考えた。

前芝中は、来年度からメディアの使用法をメディアの使用法を話し合う児童・生徒（豊橋市前芝中学校で）

用ルールを策定する予定。谷中緑校長は「生徒が自主的に考えるルール作り

の第一歩」と保健委員会の意義を語った。

(佐々木雄紫)

